

命を守る医療者は日本が戦争に進む道には反対です

九条医療者の会かごしまニュース

(旧九条医師・歯科医師の会かごしま)

東野講演会に140名参加

8月10日、鹿児島市よかセンター多目的ホールで第3回総会記念講演として、戦争中に起きた、“九大生体解剖事件”について、福岡市の産婦人科医の東野利夫氏に講演をしていただき、会員の他、一般市民も参加しました。講演では医学生として現場に立合い目撃者になられた東野氏の実体験を通して、戦争によって医師や医学者のあり方がゆがめられる悲劇が語られ、九条を守る大切さが訴えられ、参加者の感銘を呼んでいました。



参加者からも多数の質問が出されました

講演会アンケートから

- ・ 軍国主義下の人間の理性喪失の過程が良くわかりました。改めて九条の重みを感じました (70代男性)
- ・ “戦争によって人間性が失われ、悲惨で異常な状況が生まれることを生々しく語っていただき、よく理解できました(50代 医師)

*****かごしま九条の会講演会*****

“自衛隊海外派兵と憲法九条”

講師 奥平康弘

時；11月3日 午後13：30開場 14：00開演

所；鹿児島市市民文化ホール4F

参加費；700円

“医師・歯科医師の会”から“医療者の会”へ 第3回会員総会開かれる

講演会に先立って、同会場で九条医師・歯科医師の会かごしまの第3回会員総会が約20名の会員の参加のもと開かれました。同総会は鹿島友義代表世話人の挨拶の後、吉見謙一世話人から会員数が84名までになるなど着実な前進をしている等 07年活動報告と会計報告がなされました。その後、大浦教一監事から会計監査報告がなされました。

その後、今年度の活動について参加者の中で意見が出され、医師・歯科医師のみでなく広く医療従事者にも運動の輪を広げてはどの意見が出され、動議に基づいて会の名称を“九条医療者の会かごしま”へ改める事となりました。

会員総会では、08年度世話人会の改選を行い、代表世話人として鹿児島大学名誉教授松下敏夫氏を選ぶと共に、新しい世話人と監事を選出しました。

総会で選出された役員

代表世話人；松下敏夫（鹿児島大学名誉教授）
世話人；青山浩一（ますみクリニック）
有馬一城（有馬眼科）
出雲周二（鹿児島大学医学部）
伊東一則（いとう耳鼻科）
駿河保彰（鹿児島生協病院）
永田順子（鹿児島大学歯学部）
那須拓馬（鹿児島生協病院）
吉見謙一（国分生協病院）
吉見修子（谷山生協クリニック）
監事；大浦教一（大浦歯科）
田原睦郎（耳鼻科医）



代表世話人から一言 松下敏夫(鹿児島大学)

この度、図らずも、鹿島友義先生の後任として本会の代表世話人をお引き受けすることになりました。身に余る重責ですが、皆様のご協力によって何とか責任を果たして参りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

さて、先般の東野利夫先生の感銘深い講演では、戦争の悲惨さと愚かさを歴史的教訓として、世界に誇りうる憲法九条をもとに核廃絶へ向けて運動することの重要性を指摘して頂きました。

本会は、この度、会の名称を「九条医療者の会かごしま」と改訂し、会員には、医師・歯科医師を始め、看護師・薬剤師・その他の医療職や医系学生などにも広く参加していただくこととしました。

これを契機に、「九条の会」のアピールに賛同し、永久平和へ向けて憲法九条の精神を生かす活動の輪を、身近な人々から大きく広めて行こうではありませんか。

★ 事務局が以下のところに移転しました

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目22-18

電話；070-5417-1302 FAX；0995-45-4938

吉見謙一